

コミュニティ きたぐち

第383号

令和6年5月1日

発行 北口地域コミュニティ協議会

高木センター内

0798-66-3194 (木曜午前のぞく)

絵本で子どもたちに伝えたいこと



長谷川 義史氏

大阪府出身の絵本作家
ユーモアあふれる作品が人気

樋ノ口小学校体育館で、樋ノ口地区青少年愛護協議会主催、コープこうべ第2地区本部の共催、樋ノ口小学校の協力を得て、地区健全育成大会が行われ、絵本作家の長谷川義史さんに、絵本のすばらしさを教えてもらいました。

2月3日



当日、披露された絵本



「だじゃれ日本一周」
作:長谷川義史
出版社:理論社



「へいわってすてきだね」
詩:安里有生
画:長谷川義史
出版社:ブロンズ新社

会場に登場した長谷川さんは、優しい語り口で楽しい絵本の読み聞かせやウクレレでの弾き語りで皆さんを楽しませました。絵を描きながら語るライブペインティングでは、聞く人の集中力を途切れさせず、絵本の世界に引き込みました。沖繩に住む、当時6歳の少年の詩に長谷川さんが絵を描いた『へいわってすてきだね』は、ひと際真剣に朗読しました。短くて分かりやすい言葉がその場にいた人たちに、美しい風景や日常、戦争の恐ろしさといった光景を自然と想像させ、それぞれにとって身近なものとして感じられました。最後にみんなで歌った、どれも一方には強いけれども、他方には弱い、みんなが違っていいんだという内容の『グー』



子どもたちから感謝の花束贈呈

長谷川さんの作品の温かさと絵本を通して想像することの楽しさ、それぞれにとっての平和を考えるよい機会となった講演会でした。参加者は、「長谷川さんの絵本が大好きで、お話が聞けてうれしかったです。すてきな体験でした」「みんな違っていいという言葉に背中を押され、優しい気持ちになりました」と笑顔で話しました。チヨキパーのうた』では、会場が一つになりました。



絵を描きながら絵本の朗読

TSUTAYA Conditioning

頑張らなくていい /



ヨガ



ジム



リラックス

施設詳細
はこちら



ヨガ&ジム体験できます

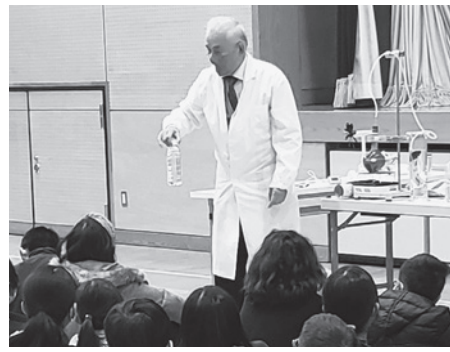
体験は事前に電話でご予約ください。
予約時『宮っ子見た!』で、体験料無料!!

〒663-8024 兵庫県西宮市薬師町2番38号 TSUTAYA西宮薬師町店内

TEL: 0798-68-0520 営業時間: 9:00~22:00

身の周りの何ぞ? を実験しよう

サイエンス・トライやる



「どうなると思う?」と、好奇心を引き出す齋藤先生

高木北小学校の6年生がサイエンス・トライやる事業の一貫で、12月21日に高木北小学校のアリーナで、元バンドー青少年科学館サイエンスアドバイザーの齋藤賢之輔先生による特別授業を体験しました。毎年抽選で行われる「サイエンス・トライやる事業」とは、兵庫県の公立小学校に向けて県教育委員会が企業研究者などの専門家を学校へ派遣し、特別授業を行うもので児童に理科の楽しさを伝えるという目的で開催されています。



実験に大興奮な子どもたち

齋藤先生の実験で解決です。この日の実験でもおわんやお玉、コップ、しょう油差し、空き缶、ゴミ袋などを使ってみんなのリクエストに伝えてくれました。先生自身も幼い頃から物の原理に興味を持ち、身近な物を使ってさまざまな実験を繰り返してきたそうです。実験を通して、子どもたちの「何ぞ?」と思う好奇心・探究心を広げてあげることが理科だけでなく、将来の仕事へつながる可能性がある。「好きこそ物の上手なれ」これが好き!と思う気持ちを大切にしたいと、教えられました。

普通って何だ

第69回 青少年読書感想文全国コンクール サントリー奨励賞受賞

～読書感想文全文(原文のまま)を掲載します～

「普通」って何だ

アディは普通ではない。周りの友達も、担任の先生も、そして自分でさえもそう思っている。彼女は「自閉的」な十一才の少女。周囲の人からのひどい仕打ちに対する悲しい気持ちも、全て仮面の下にかくして、平気なふりをして過ごしている。それが彼女なりの自分を守る方法なのだ。私も普通ではない。私の右目は、私の思いとは関係なく中心からずれていく。「外斜視」という診断を受けたのは幼稚園のころ。

母は、少しでも良くなるようにと、何度も病院に連れて行ったり毎日トレーニングを手伝ったりしてくれた。小さかった私にとってそのトレーニングはとても難しいもので、いつも泣いていたことを覚えている。母はそんな私の姿を見て、悲しそうにしていた。母の姿を見て、私も悲しくてたまらなかった。「普通」じゃない自分の目が大きらいだった。

アディは授業で知ったジュニパー村の歴史にとても傷ついた。人とはちがうという理由だけで命をうばわれた女性たちがいたこと彼女たちが魔女とよばれていたことに。アディは彼女たちの慰霊碑を設置するための活動を始める。

私は自分の右目のことを、友達に指摘されたことがある。その日のトレーニングも上手くできず、私は自分の目を力いっぱいたたいた。母は必死で私のうでをつかんで止めた。「もう止めよう。真ん中に来なくてもいい。あなたの目はとても賢い目なのかもしれない。」そう言った母は泣いていたような気がする。(このままでいいんだ)母の言葉で私はそう思った。何度も失敗した村の委員会での要望。アディのスピーチが大人たちをついに動かした。

「心から自閉でよかったって思います」「わたしは、このままの自分が好きです。大好きです」ジュニパー村の人たちと同じように、私もアディの言葉に拍手を送りたい。周りの目やいじわるを怖がり、普通であろうとすることは、自分で自分をいじめているのと同じだと思う。もちろん周りの人を傷つけないことも大切だ。しかし、だれよりも自分がありのままの自分のことを一番好きでなければいけないと私は思う。

私もアディも普通ではない。でも、普通って何なのだろう。例えば私のクラスの中で普通な人って誰だろう。落ち着いている人、目立ち過ぎない人、一人ぼっちにならない人、人とはちがう行動をしない人、先生におこられない人…。イメージはできるのに、「それは誰?」と聞かれたら、一人も顔が思いうかばない。私はだれに「普通」を教わったのだろう。だれが「普通」を決めているのだろう。きっとそんな人はどこにもいないのに。

今でも母が私の右目のことを気にしていることを知っている。そんな母の気持ちもよく分かる。それでも、私の右目は教えてくれる。「普通」にとらわれない素晴らしい生き方を。私は普通じゃない私のことが大好きだ。



ますみつあんじゅ 益満杏珠さん

高木北小学校6年(令和6年2月時点)益満杏珠さん(12)の感想文「普通」って何だ」が、公益社団法人全国学校図書館協議会・毎日新聞社主催の「第69回青少年読書感想文全国コンクール」で、サントリー奨励賞に選ばれました。障害がテーマの課題図書を選び、「自分の身体のセンシティブなことにも触れない」と一歩踏み込んで書き上げた力作です。課題図書『魔女だったかもしれないわたし』(エル・マクニール著、

榎田理絵訳、出版社PHP研究所)は自閉症の少女の葛藤と成長を描いた作品です。本との出会いは「表紙のイラストがかわいかったから」と益満さんは言いますが、障害やいじめ、魔女裁判といった難解な内容と、夏休みいっぱい向き合ったといいます。

感想文では、主人公・アディが障害を嫌悪する社会に悩む様子に思いを重ね合わせて、自らの身体で悩んだ過去についても触れています。障害を受け入れて「このままの自分が大好き」とスピーチしたアディに、「周りの目を怖がり、普通であろうとすることは自分で自分をいじめている」「ありのままの自分を一番好きでいて」と共感の言葉をかけました。

高木北小ではビブリオバトルや180字作文など、文章を書いて伝える機会が多くあるそうです。母・ゆづさんも「感想文は本の内容と自分の経験とをリンクさせるのが大切なんだと改めて思いました」と話していました。



どんどん長くなるよ!

「めっちゃ楽しかった」と児童たちが口々に叫んで館内が一気に盛り上がりました。「高木遊ぼう会」で人気の「じゃんけん列車」の遊びが終わったところ。約百人の児童が長い列につながって、体育館の中をぐるぐる回る。じゃんけんで負けた子が列の最後尾につく。先頭になった子はすくすくうれしそう。



床のカードを自分のチームの色に返すゲーム! いそげ~!

めっちゃ楽しい集い

「高木遊ぼう会」は、ひまわり部門の学生が年に3回、高木小学校で開く集いです。対象は高木小学校と高木北小学校の児童。学校で募集があるときに申し込みをすると参加できます。ジエスチャーゲームやボウリングなど楽しい企画がいっぱいです。



春まつりの様子。大人気で何度も買いに来る子が続出

ひまわり部門は、高木公園での「高木春まつり」「高木秋まつり」にも参画します。綿菓子コーナーを開店するとたちまち長蛇の列になります。

見つけた! 北口地域のキラ星



Vol.33

関西学院大学(関学)ほっとコミュニティの「ひまわり部門」が、高木地区青少年愛護協議会から推薦され、「西宮市青少年表彰」を受けました。高木地区を中心に子どもたちを支援するボランティア活動が評価されました。関学を訪れ、部員の学生たちに話を聞きました。

関西学院大学
ほっとコミュニティって何?
関学のボランティアサークル。子ども支援の「ひまわり部門」と、地域支援の「チャコネット部門」で活動中。

西宮市青少年表彰とは?
青少年が思いやりの心を持ち、社会の一員としての自覚や連帯感を身につけ、社会の発展に貢献する市民として成長するために地道な努力をしている青少年を表彰。

地域とつながる

今回の「青少年表彰」を受けた感想を聞きました。高木(地区)代表の岩田悠司さんは「先輩たちからの長い歴史を受け継いできた結晶。守っていかなくては」。



「目の前で子どもたちが喜んでくれるのが何よりうれしい」と話す岩田さん(左)、千代川さん(中央)、中村さん

美羽さんは「長年積み重ねた活動が、地域に貢献できていることが認められた」。

ほっとコミュニティ代表の中村勇斗さんは「光栄です。これからの活動に対して責任が増した」と、それぞれに喜びと決意を話してくれました。

遊びも、学びも

今後について尋ねると「コロナ禍で途絶えた集いを一昨年から復活できました。この活動を受け継いでいくとともに、地域に合わせたもっと小さな活動も進めていきたい」。


と抱負を語りました。活動している学童保育もその一つ。「遊び」だけでなく「学び」にも目を向けているのです。

ひまわり部門は表彰の趣旨どおり、地域貢献のため、地道な努力を欠かさない活動ぶりが輝いていました。

瓦木中学校

- 駅伝部
 - 【兵庫県都市区対抗駅伝競走大会】
 - 第3区 朝日 小都子 第1位
 - (西宮市選抜チーム女子)
 - 西宮市選抜チーム女子 優勝
 - 【西宮市中学校新人大会】
 - 女子 第2位
 - 第1区 岡本 麗央 第3位
 - 第2区 増田 梨花 第3位
 - 第3区 鶴窪 香佳 第2位
 - 第5区 朝日 小都子 第1位
- 男子ソフトテニス部
 - 【のじぎくカップ阪神地区予選1年生大会】
 - ※県大会出場 佐々木・宮脇組 第5位
- 柔道部
 - 【阪神中学校柔道冬季大会】
 - 男子団体(2年) 第3位
- 男子バレーボール部
 - 【西宮市中学校バレーボール選抜大会】 優勝
- 剣道部
 - 【西宮市中学校冬季剣道錬成大会】
 - 女子団体 第3位
- ソフトボール部
 - 【西宮市中学校対抗女子ソフトボール大会】 準優勝
- 吹奏楽部
 - 【第50回関西アンサンブルコンテスト】
 - 山口・加藤 金賞
 - 高橋・堀田
 - 佐原・渡邊
- 【福祉作品コンクール】
 - 星川 百寧 特選
 - 掛 優日子 入選
 - 中津留 愛 佳作
- 【西宮市いじめを許さない学校づくりポスターコンクール】
 - 遠藤 亜美 佳作
 - 田部 桃花 佳作
 - 津村 綾乃 佳作
- 【手づくり絵本コンクール】
 - 杉本 野々花 奨励賞

樋ノ口 SC21

- 野球部
 - 2023年度黒潮リーグB級後期 優勝
 -  優勝のガッツポーズ
- バレーボール部
 - 第41回西宮市小学生バレーボール協会長杯 優勝
- Jr.卓球部
 - 令和6年度エースコック杯3・4年女子
 - 1部 上村 紗瑛 優勝
 - 島 奈緒 準優勝
 - 吉村 朱里 第3位
 - 3・4年男子
 - 1部 足立 勇登 準優勝
 - バンビ(2年以下男女)
 - 島 佳穂 優勝
 - 上村 瑛美 準優勝
 - 足立 将登 第3位



笑顔でピース

- 女子ミニバスケットボール部
 - ライオンズカップ6年生大会 準優勝
 - ライオンズカップ5年生大会 準優勝



6年生



5年生

5・6年生そろって準優勝!

おめでとう
ございます

表彰

- ★教育長表彰
 - 団体
 - 瓦木中学校吹奏楽部
 - 瓦木中学校吹奏楽部アンサンブル(打楽器)
 - 個人
 - 星川 百寧
- ★コミュニティ協会賞
 - 衣笠 周司(甲風園3丁目)

SC21 高木

- Jr.バドミントン部
 - SC小学生バドミントン大会
 - ダブルス 櫻井・川崎組 第3位
 - シングルス 鶴窪 志帆 第3位
- 野球部
 - 武庫川わんぱくリーグC級(4年生) 優勝
 - TRKリーグ戦C級(4年生) 第3位
 - 尼崎東リーグ後期A級トーナメント(6年生) 第3位
- 男子ミニバスケットボール部
 - ライオンズカップ6年生大会 準優勝
- サッカー部
 - 高木SC50周年記念U-9ミニサッカー大会 優勝



練習の成果が出ました

訂正とおわび
3・4月号の瓦木中学校吹奏楽部の漢字表記に誤りがありました。訂正しておわびいたします。
誤) 高橋 → 正) 高橋
誤) 堀田 → 正) 堀田

地域の行事・お知らせ伝言板

ボーイスカウト西宮第1団

- ハイキング(ビーバー隊) 5月12日(日) 伊丹昆虫館見学(ビーバー隊) 6月23日(日)
- オーバーナイトハイキング(ボーイ隊) 5月18日(土)~19日(日) 釣り(ボーイ隊) 6月23日(日)
- 地区カブ集会 5月19日(日) 野外組集会(カブ隊) 6月下旬

トライやる・ウィークのお知らせ

☆瓦木中学校
5月20日(月)~5月24日(金)
地域の皆さんご協力をお願いします!

高木公民館講座のお知らせ

月日	曜日	時間	講座名	出演	場所	定員	募集方法	備考
5/26	日	13:30~14:30	文化芸術 西宮市制施行100周年記念プレイベント 「サクソフォンカルテット特別演奏会」	ミ・ベルモサクソフォン カルテット	3F 講堂	80人	当日受付 先着順	無料